

緊急女性アンケート「コロナ禍での仕事の『困った』の声」の結果について

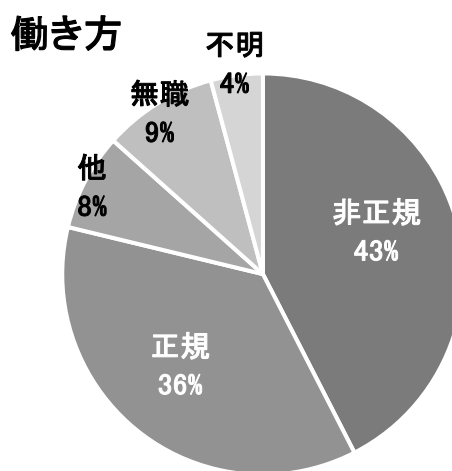
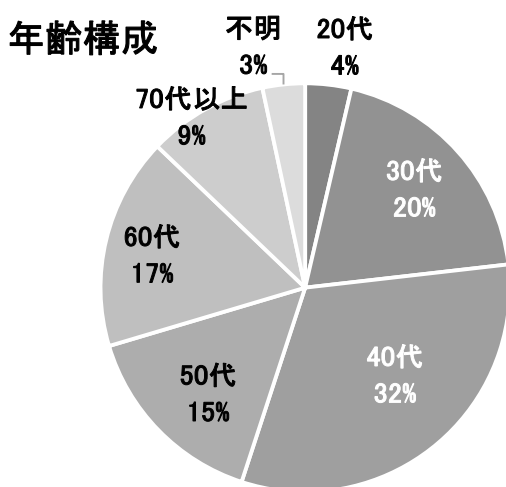
2020年11月25日 新日本婦人の会

1、調査の期間と方法

- ・11月4日から11月20日まで緊急募集
- ・新婦人しんぶん（週刊発行、20万部）紙上とグーグルフォームでよびかけ

2、回答者の属性

回答者 47都道府県 358人 グーグルフォームで156人、ファクス・郵便・メールで202人
 年代—30代、40代、50代で67%、60代、70代以上も
 働き方—非正規が43%、正規36%、自営、フリーランスも



働き方	人
非正規(パート)	96
非正規(アルバイト)	11
非正規(派遣)	10
非正規(契約)	16
非正規(他)	9
非正規	10
正規	130
自営業	22
フリーランス	4
他	2
無職	33
不明	15
合計	358

3、内容の特徴

①非正規雇用の女性は解雇や仕事減・収入激減がほとんどで、「女性活躍、雇用増」と言いながら調整弁として非正規を広げてきた問題が露呈。コロナ危機の長期化と12月支援打ち切りで生計がたたなくなっている。シングル家庭の苦境が際立つ。

<「声」から>

- ・解雇、住宅退去 売り上げが落ち解雇された。夫は病気、国保料減免を（製造業50代）、6月初旬パート全員が解雇予告を受けた（ホテル清掃60代）、発熱しコロナでなく感冒だったのに突然解雇、住居も退去させられた（派遣20代）、直接雇用扱いとなったものの12月で仕事が変わり解職に（大手コールセンター40代）、12月までは政府の補助金があるが、来年からはわからないと。ダブルワークを探している人も（空港売店パート）
- ・仕事急減で収入激減、借金 仕事激減で税金や国保料等支払い困難（サービス業20代）、7月末まで仕事なし（建設業50代）、3カ月間仕事なかった（教諭60代）、出勤日数が激減（販売40代）、閉鎖の間、給料がなく、不安感でいっぱい（子育て支援60代）、教室の休みが多く収入的に苦しい（ピアノ講師40代）、出勤停止で、時給・日当で働く者は給料が減り、生活していけない、どうか生活保障をお願い（障害者就労支援40代）、仕事が休みになり給料保障なし（製造業40代）、蓄えがなく長期の無職状態（派遣50代）、年収50万円減（医療60代）、借金がふえるばかり（キャスト40代）、仕事に出られない日が増えると時給なので収入減、生活できない（生活支援員40代）

- ・危険作業も 使い捨て手袋がまわってこない（病院清掃 60 代）
- ・支援金不支給 シングルで 2 人の子育て、学校休校で小学校休業助成金制度できたが会社が使ってくれず、個人でも申請できるように（製造業 40 代）
- ・シングルマザーの苦境 消毒薬製造ラインがフル回転、非正規にもかかわらず深夜まで労働時間延長。子どもの面倒の手伝いにきた母も疲労、正規の見通しもなく理不尽（製薬会社 40 代）、1 日 2 食が精一杯、再び学校休校なら給食だけは保障を（看護助手 40 代）
- ・ダブルワーク、夫婦とも非正規 ビル清掃と皿洗い、収入半減（清掃 50 代）、介護ヘルパーと宿泊施設パートのかけもち。インフルエンザ予防接種代も高くて受けられない（40 代）、夫婦とも非正規で夫は賞与なしに。正規転換ルールも守られず、子どもの学費、奨学金返済、貯金なく不安つきず（飲食業 50 代）
- ・第3波 GoTo で客足が増えるばかり、万一自分が感染したら不安（飲食業 30 代）、GoTo イートで人員増も賃金増もなく、クタクタ、疲労困憊（寿司チェーン店 40 代）
- ・年金生活者も 試食販売の仕事が一番先に中止に。少ない年金、母娘で生活（70 代以上）、スーパーなどでの試食販売の仕事、1 日限りの派遣の仕事がなくなり、収入ゼロに。労働局から「直接メーカーの仕事でないの」と（70 代以上）

②正規雇用でも減収や在宅ワークの自己負担、さらに 12 月の支援切れによる雇用不安を訴え、とくに医療・保健・介護・保育などケア労働のエッセシャルワーカーで賃金・一時金カットが横行、緊張した労働強化が続き医療崩壊寸前、教育現場を含め疲労とストレスが蓄積している。また、自営業やフリーランスは直接支援なしでは生活できない状況となっている。

<「声」から>

- ・減収、雇用不安 取引先が廃業、経営悪化で大きな減収（事務員 40 代）、お客様にあえず契約の話もできず、クビになりそう（生命保険アドバイザー 20 代）、現在は政府の給付金で部分的に給料がまわなわれているが、来年 1 月なくなった後が不安（飲食 30 代）、コロナ理由の休みは有給使用、昇給なく、ボーナスもカット（事務職 50 代）、来年から雇用調整金がなくなれば雇用できないかもと言われている（調理 20 代）、4 月入社、受注減少で出勤日減。手取り 3 万円減、14 万円に。中小企業支援を（製造業 20 代）
- ・テレワークは自己負担 パソコン、通信環境、用紙、印刷などすべて自己負担（公務員 50 代）、テレワークは食卓で仕事。生活の場を奪われた。環境整備支援を（会社員 30 代）
- ・医療機関で一時金カット、全生活にストレス 発熱外来の受付で、緊張、疲弊、慢性的疲労が長時間続いている（医療 30 代）、病院の収入減でボーナス減額、家や車のローンがボーナス払いなので心配。防護服で熱い、動きづらい、人の話が聞きづらいとストレス大（看護師 50 代）、シングルマザーでコロナ患者を受け入れ大忙し、毎日帰宅が遅く、子どもや母に負担。精神的に不安定でいつも退職したいと思っている。ボーナスカット、一時的な給付金では、やってられない（看護師 30 代）、シングルで 2 人の子育て、ボーナスがなくなると、悲観的な思いばかりがよぎる（看護師 30 代）、マスク、ガウン不足、経営赤字でボーナスカット提案、このままでは患者増加に耐えられないのではと危惧（医療 50 代）、人一倍気をつけて生活、県外移動など行動制限、自粛生活が続いている（医療介護 30 代）
- ・保健所、いつ倒れるか 毎日残業で 1 カ月 150 時間こえ、毎日帰りは 9 時 10 時、土日も 1 日 2 日出勤、疲労困憊、いつ倒れるか、非正規の応援でなく、職員増員を（保健所 30 代）、訪問介護ヘルパー全員の PCR 検査義務化を（訪問看護 40 代）、
- ・介護・福祉・保育・学童、密な職場で 定期昇給停止で生活費に影響（ケアマネジャー 50 代）、消毒作業、清掃で低賃金、慰労金 5 万円、もう少し光をあててほしい（介護施設・病院清掃 60 代）、保育園全体が密、最低基準を最高基準に（保育 30 代）、事業収入減、利用者の低い時給、工賃ほぼ半分に（障がい者福祉施設 60 代）、学童保育が密。遊び場や静養室がない。基準の適用を自治体に義務付けてほしい（放

課後児童支援員 40 代)

- ・**学校くたくた** 子ども教員もくたくた。3密を避けろと言われても教室は密、20人学級に（小学校教員 20代）、病弱な子に接する仕事、感染で命を奪いかねない（特別支援学校教員 40代）
- ・**自営業・フリーランス、廃業・見通しなし** 客足 8割ダウン（居酒屋 50代）、宿泊客が減り、廃業を考えている。もう一度給付金を（旅館 70代以上）、客激減、再度持続化給付金を（カフェ経営 60代）、外食産業の需要減で米価下落、収入減、価格・所得補償を（農業 40代）、教室休み、月万単位で減収、補助金なし（習字教室 30代）、売上 80%減で苦難の日々、1日も早い支援、芸術・文化予算増額を（映画配給の 60代）、オンラインレッスンによる経費が支給されず（音楽教室講師 20代）、給付金や補助金を頼る見通しのない生活。生活費なく借り入れて苦しんでいる。最低の生活費補助を（個人事業主 50代）、

③子育ての心配や介護などの負担の集中、家族の失業、家庭不和、単身者の孤独など、コロナうつ、疲労困憊、体調不良などを訴える例が多数あり、経済的にも精神的にも追い込まれている。

<「声」から>

- ・**家庭も職場もギクシャク** 感染予防に神経質になり、夫と不仲に（看護師 40代）、夫がテレワークになり、毎日家にいるので、自由がなくなり、息苦しさを感ずる（主婦 40代）、発熱でも PCR 検査を受けられず職場がギクシャク（保育士 50代）、グループホームの利用者さん、ストレスがたまり、ささいなことで言い合いが（介護 40代）、ボーナスカット 5カ月が 3.25に。在宅勤務で出費増、ぐちを言い合う機会が減って孤独感が増（コンサル業 30代）
- ・**コロナうつ、看取りうつ…** 残業が続き、精神的にもバランスを崩し、軽いうつ状態になり通院、休職（大学教務 40代）、義母・実母の介護で公務員を辞めざるをえず、母の葬儀をコロナで簡略、2度の喪失感に苛まれている。看取りうつに支援を（50代）、夫がリストラされ、これからが不安でたまらない（事務職 40代）、自営でインストラクター、いきなりの解雇と同じ喪失感、かなりのダメージ、気軽にカウンセリングを受けられる体制を（体操教室 60代）、3人の子育て、休校で初めてかぎっ子になり、心配で仕事を3日休んでトレーニング（正規 30代）、コロナでリストラの対象となり離職、体調を崩し、失業保険でなんとか生活。母子家庭で、この先不安（無職 50代）、コロナうつになりそう、PCR 検査を全員に（60代）
- ・**女性 1人で生きられない** 単身で非正規、休業や賃金カットが適用された。これ以上賃金減、雇用もいつ終了か、不安でギリギリの生活、窮迫状態です。税金や保険料減免など少しでも助けてほしい（一般事務 50代）
- ・**他、難病、就活、外国人実習生、免許返納…** 難病で免疫抑制剤服用、感染が恐怖、一人親家庭で生活困窮（サービス業 30代）、子どもの就活が大変、社会へ出る前に若者が潰される（自営 40代）、外国人実習生が悲惨（不明）、免許返納したので公共交通機関利用が不安（70代以上）

④PCR 検査の遅れが女性の苦難を増大させており、検査徹底を望む声が圧倒的に多い。また、実情や願いとかけはなれた政府のコロナ対策（GoTo、アベノマスク、一斉休校…）への批判、生活を支える緊急支援の切実な願いが職種・働き方を超えて寄せられた。女性の困難を深刻にする非正規雇用化や社会保障削減、教育・ジェンダー対策の一日も早い転換の必要性が明らかになっている。

4、寄せられた「声」一覧(次頁から)